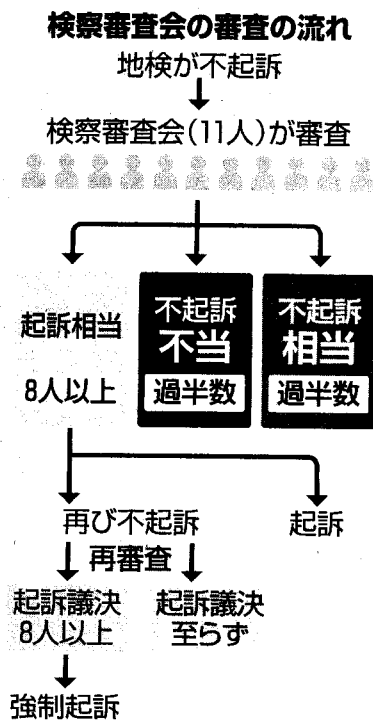


検察審査会 「不起訴」市民がチエツク

裁判にかけないと検察が判断した事案を市民目線でチエツクする――。検察審査会は、検察が恣意的に不起訴にしていなかを市民が調べる仕組みだ。2009年からは、起訴すべきだとの結論が2回出れば強制起訴されるようになった。



の助言も受けられる。

メンバーは11人で、選挙権のある20歳以上からくじで選ばれる。6カ月ごとの任期制で、審査では弁護士らのは、議

不当」、過半数に満たないと「不起訴相当」となる。起訴相当の議決後に検察が再び不起訴としたり、3カ月以内に起訴しなかった

りした場合、再審査をする。そこで再び8人以上が起訴を求めれば「起訴議決」となり、裁判所が選んだ「指定弁護士」が検察官役となって起訴する。

検審が処理する事件は年間約2千件で、起訴相当の議決は数件しかない。強制起訴になったのは09年以降、兵庫県明石市の歩道橋事故やJR宝塚線脱線事故、東京電力福島第一原発事故など10件で14人。2人で2人の有罪が確定した。略式起訴された場合は、検審の申し立て対象にならない。

千葉の養鶏場鳥インフル

今季東日本で初 埼玉では野鳥から

千葉県は24日、いすみ市の養鶏場で鳥インフルエンザウイルスが検出されたと発表した。鳥への感染力や

千葉県によると、いすみ市の養鶏場は全国2番目の飼育羽数(2019年時点)。

されたのは、ときがわ町で見つかった野生のフクロウ1羽の死骸。今後、国の機関で確定検査を行う。結果

は1週間ほどで判明する。

国の専門家会議は24日、今季の発生状況を分析した。伊藤寿啓・鳥取大教授は「大陸から渡ってきた渡り鳥は今後、暖かい地域へ南下するなど国内でも移動する。至るところで発生リスクは高まっている」と指摘した。

「大川小」に送

東日本大震災の被災地の子どもたちの楽器を届ける「宣明会楽器BANK」に協力する京都市の橋爪恵一(68)、しみえりこ(68)夫妻に1本の電がかかってきた。

楽器BANKの共鳴 ④

「家がグラウンドピアノを大小学に送りたい」
震災から約1年後、神奈川県内の女性からだった。全盲で的悪化でもう弾けないから被地で設立して欲しい、との依頼だった。音楽には力があると

大川小は宮城県石巻市内の校で、大川を上って来た津で児童74人が犠牲になった。

795

てんでん

富士

雇調

れる反応に気づいて上司に報告していたことが、複数の関係者への取材でわかった。同社は報告を受けながら詳しく調べず検査を「合格」させており、厚生労働省や県は同社の検査体制に

立ち食い